

D-3 Two-Stage 発ガンモデルの利用に関する考察

長崎大・環境科学 中村 剛・
九大・医 絹川 直子
九大・医 野瀬 善明

Two-Stage モデルとは、正常細胞は中間細胞を経てガン細胞に変異するという分子生物学の知見を確率過程を用いてモデル化したもので、環境健康リスク解析に応用される。しかし最尤解発見のために状況に応じた様々な仮定が用いられる為、研究結果の比較が困難なことがある。条件つき尤度を用いることにより、最尤解を発見する効果的アルゴリズムの

開発が可能になると同時に、結果の生物学的解釈も明確にできること、及びそれを用いた解析結果を報告する。